

暮れも押し迫った12月15日（木）、西小学校で出前授業の特別編が実施されました。講師は、浜松ユネスコ協会の岡本弘美さん。岡本さんは、浜松茶道連盟理事長であり、裏千家淡交会浜松支部幹事長を務められ、しかも西小学校の卒業生であることから話がとんとん拍子で進み、西小学校6年生55名の「総合的な学習」の一環として「ようこそ先輩—日本文化の素晴らしさを学ぼう—」の出前授業が実現したのです。

当日は、小嶋会長の「ユネスコと茶道はどんなつながりがあるんだろうね」という問いかけから始まり、「ユネスコは、教育・科学・文化を通して世界の平和を目指す理念を持って活動していることを語り、今日は特にその文化的な側面として、日本の長い歴史の中で生まれ、現代まで脈々と受け継がれてきた日本文化の一端としての茶道の持つ伝統と格式をの目と耳と体で実感してほしい」というお話で授業がしました。岡本先生は、「茶道の魅力は、人をもてなしもらうこと」と話し、その場のしつらえや立ち居振る所にもてなしの心が織り込まれていることをお話くださいました。そして、淡交会浜松支部の会員7名の方が講師と前を披露してくださいました。子ども達は7つのグル



みなさん  
スタート  
て喜んで  
舞いの随  
さいまし  
なり、お点  
一づに分  
仕方など



の指南を受け、講師の先生方がたててくださった抹茶と和菓子を心地よい緊張感の中で味わっていました。

最後は、教えていただいたお辞儀の仕方を皆の前で披露しあい、和やかな雰囲気の中で“日本の文化の一端”を体感することができました。